



▲青葉地区にある11の町内会から、総勢60人の町内会役員が集まった研修会

言語の壁を越えた救急

外国人対応救急訓練

3月5日(月)・8日(木)、登別温泉公民館で『外国人対応救急訓練』(市主催)を行いました。

近年、登別市への外国人個人観光客が増加しているため、市消防は、通訳がない場合でも迅速に救急対応ができるよう、登別温泉に勤める海外出身者にご協力いただき訓練を実施。消防職員が、身振り手振りやスマートフォン翻訳アプリケーションなどで、協力者の『けが』の状態などを確認する訓練を行いました。

消防職員は、言葉が通じない中での意思疎通の難しさをあらためて認識し、どのようにしたら確認したい事項をより伝えられるか、協力者からアドバイスをいただきました。

3/5・8



▲英語や中国語で伝えたい内容を書いたカードで説明し、倒れている方の状態を確認する消防職員

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

- ・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
- ・市フェイスブック
- ・二次元バーコード



論語にふれて 自身を見つめ直す

青葉地区連合町内会・町内会役員研修会

3月10日(土)、老人憩いの家『緑寿の家』で、『青葉地区連合町内会・町内会役員研修会』(同連合町内会主催)が行われました。

これまで、防災や高齢者福祉などの題材を取り上げてきた同研修会。今回は、市職員の孔(こう)佩(はい)群(ぐん)を講師として、中国の文化や『論語』として受け継がれている孔子の言葉を学びました。

参加した町内会役員は、孔子の言葉を日々の暮らしに当てはめ、自分自身の行動を思い返すとともに、各町内会で行う研修への活用を検討していました。

3/10

雪と遊ぼう 春を間近に冬を堪能

カルルス温泉冬まつり

3/4



▲両手いっぱいみかんを拾う参加者

3月4日(日)、カルルス温泉サンライバスキー場で『カルルス温泉冬まつり』(同実行委員会主催)が開催され、約700人の参加者が多彩なイベントを楽しみました。

当日は、あいにくの雨となりましたが、大勢の家族連れやスキーヤーが会場に集まり、『雪中みかん拾い』のイベントでまつりがスタート。その後も、そりに乗って順位を競う『親子ボブスレー』や雪玉を投げる『ストライクワン』、雪上パークゴルフの『ホールインワン』など、家族で楽しめるイベントのほかにも、スキー・スノーボードの講習会や少年スキー大会などが同時開催され、登別の冬を満喫できるまつりとなりました。

また、午後からは登別漁港で水揚げされたサケのクリームシチューや市内で捕獲したエゾシカ肉を使用したディアシチューが振る舞われ、『雪遊びで冷えた体が温まる』と多くの参加者から好評でした。

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

- ・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
- ・市フェイスブック
- ・二次元バーコード



▲勢いよく雪の斜面を滑走してスピードを競うスキー大会